

# しんきんG7外国債券インデックスファンド (3ヵ月決算型)

追加型投信／海外／債券／インデックス型

## 交付運用報告書

第8期(決算日2025年11月20日)

第9期(決算日2026年2月20日)

作成対象期間(2025年8月21日～2026年2月20日)

第9期末(2026年2月20日)	
基準価額	11,585円
純資産総額	1,431百万円
第8期～第9期	
騰落率	8.3%
分配金(税込み)合計	130円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しています。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「しんきんG7外国債券インデックスファンド(3ヵ月決算型)」は、2026年2月20日に第9期の決算を行いました。

当ファンドは、FTSE Group of 7 Index(除く日本、ヘッジなし・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行っています。

ここに、第8期から第9期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。弊社ホームページの「ファンド各種資料」において運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

○運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される場合は、販売会社までお問い合わせください。

 しんきんアセットマネジメント投信株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号

<https://www.skam.co.jp>

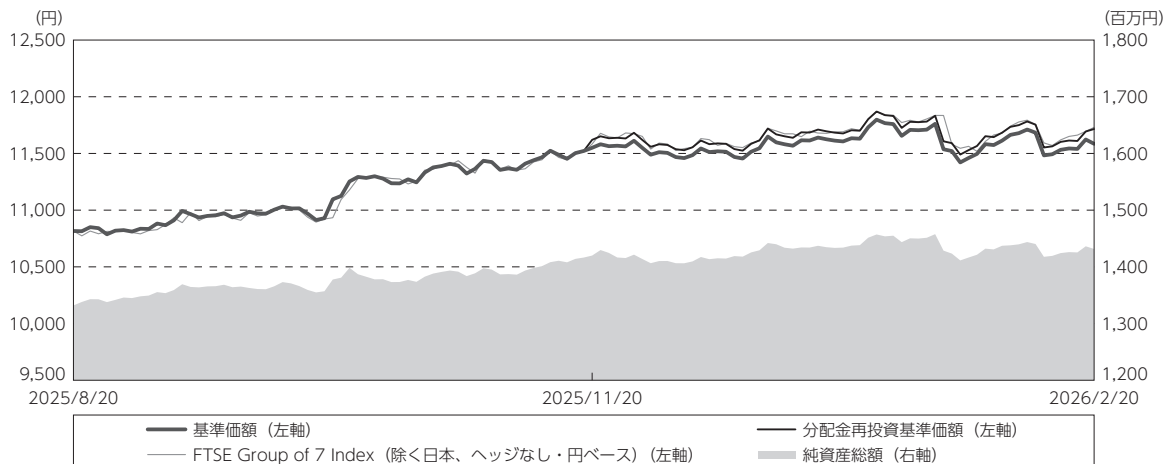
<コールセンター>  0120-781812

(土日、休日を除く) 携帯電話からは03-5524-8181  
9:00～17:00

## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

(2025年8月21日～2026年2月20日)



第8期首：10,816円

第9期末：11,585円 (既払分配金(税込み)：130円)

騰落率： 8.3% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額およびFTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース)は、作成期首(2025年8月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) ベンチマークは、FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース)です。詳細は12ページをご参照ください。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、親投資信託である「しんきん先進国債券インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じて、先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行っています。

当作成期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

## &lt;上昇要因&gt;

- ・2025年9月に発表された米雇用統計が労働市場の冷え込みを示す結果となったため、米連邦準備制度理事会(FRB)による利下げ期待が市場で高まり、米国債金利が低下したこと。

## &lt;下落要因&gt;

- ・日米の通貨当局が為替介入の準備段階にあたる「レートチェック」に動いたとの観測が広がり、日米協調介入の可能性への警戒感が急速に高まりドル安円高が進行したこと。

## 1万口当たりの費用明細

(2025年8月21日～2026年2月20日)

項 目	第8期～第9期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	30	0.269	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(12)	(0.105)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(17)	(0.150)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.013	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 1 )	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	31	0.282	
作成期間の平均基準価額は、11,335円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

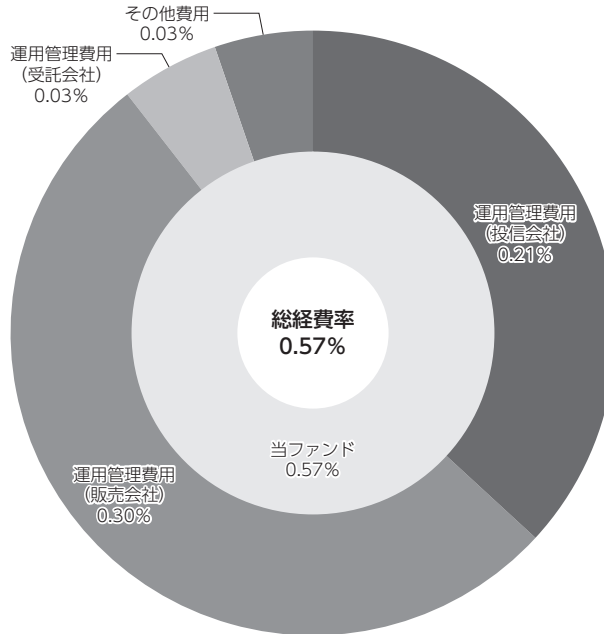
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

## (参考情報)

## ○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.57%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2021年2月22日～2026年2月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびFTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース)は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 当ファンドの設定日は2023年10月20日です。

	2023年10月20日 設定日	2024年2月20日 決算日	2025年2月20日 決算日	2026年2月20日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,553	10,575	11,585
期間分配金合計(税込み) (円)	—	75	205	245
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	6.3	2.1	12.0
FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース)騰落率 (%)	—	6.5	3.0	12.1
純資産総額 (百万円)	500	622	1,323	1,431

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しています。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2024年2月20日の騰落率は設定当初との比較です。

(注) ベンチマークは、FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース)です。詳細は12ページをご参照ください。

**投資環境**

(2025年8月21日～2026年2月20日)

**(米国債券市況)**

当作成期初から2025年11月にかけて、米国債金利は低下基調での推移となりました。9月に発表された米雇用統計が労働市場の冷え込みを示す結果となったため、FRBによる利下げ期待が市場で高まったこと、パウエルFRB議長が講演で量的引締め(QT)の停止を示唆したこと、次期FRB議長候補として利下げに前向きなハセット米国家経済会議(NEC)委員長が最有力との報道が主な金利低下の要因となりました。その後2026年1月にかけては、FRBによる利下げが実施されたものの、消費や雇用に関する複数の経済指標が良好な内容となったこと等を受けて米国債金利は上昇基調での推移が続きましたが、2月以降は事前予想対比で低調だった雇用関連指標や消費者物価指数等を受けて、一転して低下基調での推移となりました。

**(欧州債券市況)**

当作成期初から2025年10月にかけての欧州国債金利は、9月に発表された米雇用統計が労働市場の冷え込みを示す結果となり米国債金利が低下したこと、フランスの政治リスクがやや後退したことや、米中貿易摩擦が欧州経済に悪影響を及ぼすとの懸念から低下基調での推移となりました。その後2026年1月にかけては、欧州中央銀行(ECB)高官が次の政策変更は利上げとなる可能性があるとの見方を示したことや、ECBが発表した景気予測の一部を上方修正したことで、市場で金融緩和サイクルが終了したとの見方が広がり、欧州国債金利は上昇基調で推移しました。2月に入り米国の経済指標の低調な内容から米国債金利が低下したこと等を受けて、欧州国債金利も一転して低下基調での推移となりました。

**(為替市況：ドル円市場)**

当作成期初から当作成期末にかけてのドル円は、日米の通貨当局が為替介入の準備段階にあたる「レートチェック」に動いたとの観測が広がり、日米協調介入の可能性への警戒感が急速に高まりドル安円高が進行する局面もありましたが、おおむねドル高円安基調での推移となりました。主な要因としては、自民党総裁選における高市氏の勝利を背景に、積極財政による財政悪化懸念が広がったこと、利上げが決定された2025年12月の日銀金融政策決定会合後の記者会見で、植田総裁が今後の利上げを急がない姿勢を示したこと等です。

**(為替市況：ユーロ円市場)**

当作成期初から当作成期末にかけてユーロ円は、自民党総裁選における高市氏の勝利を背景に、積極財政による財政悪化懸念が広がったこと、ECB高官が次の政策変更は利上げとなる可能性があるとの見方を示したこと等から、おおむねユーロ高円安基調での推移が続きました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2025年8月21日～2026年2月20日)

親投資信託である「しんきん先進国債券インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じて、先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行いました。

## ●しんきん先進国債券インデックスマザーファンド

主として先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行いました。

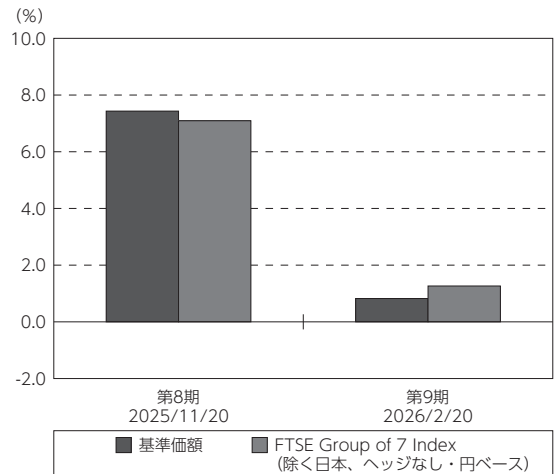
当作成期末の2026年2月20日時点におけるファンドの修正デュレーション（金利感応度）は6.26年、時価最終利回りは3.56%となっています。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年8月21日～2026年2月20日)

当作成期の基準価額の騰落率(分配金再投資ベース)は+8.3%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は+8.4%となりました。この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因、カストディーフィー（保管費用）などファンドが負担する各種費用等が含まれています。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) ベンチマークは、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）です。詳細は12ページをご参照ください。

**分配金**

(2025年8月21日～2026年2月20日)

収益分配金については、経費控除後の配当等収益や基準価額水準等を勘案して、第8期は1万口当たり70円(税込み)、第9期は1万口当たり60円(税込み)としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し運用の基本方針に基づき運用を行います。

**分配原資の内訳**

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第8期	第9期
	2025年8月21日～ 2025年11月20日	2025年11月21日～ 2026年2月20日
当期分配金	70	60
(対基準価額比率)	0.602%	0.515%
当期の収益	70	60
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	1,550	1,584

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針**

引き続き、親投資信託である「しんきん先進国債券インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じ、FTSE Group of 7 Index(除く日本、ヘッジなし・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行う方針です。

**●しんきん先進国債券インデックスマザーファンド**

先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index(除く日本、ヘッジなし・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行います。

## お知らせ

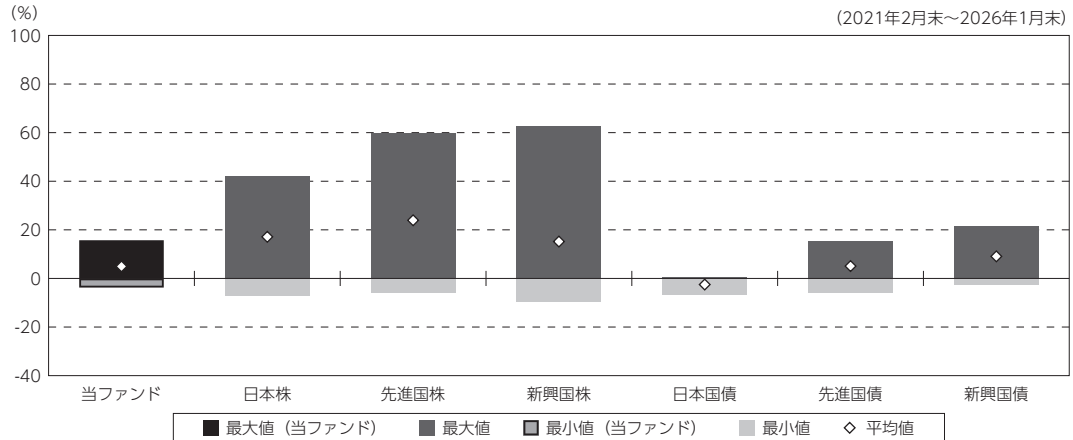
該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券／インデックス型
信託期間	無期限
運用方針	<p>①主として「しんきん先進国債券インデックスマザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます。)の受益証券への投資を通じて、外国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。</p> <p>②マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>③運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、金融商品取引所における有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引を行うことができます。</p> <p>④実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑤市況動向あるいは資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p>
主要投資対象	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。なお、直接公社債等に投資する場合があります。
運用方法	FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース) に連動する投資成果を目指して運用を行っています。
分配方針	<p>年4回の決算日に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。</p>

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	15.7	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 3.8	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値	4.9	17.1	23.9	15.2	△ 2.5	5.1	9.1

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2021年2月から2026年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドの設定日以前の年間騰落率につきましては、当ファンドの対象インデックスを用いて算出しています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、12ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

(2026年2月20日現在)

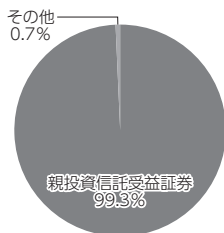
#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第9期末
しんきん先進国債券インデックスマザーファンド	99.3%
組入銘柄数	1銘柄

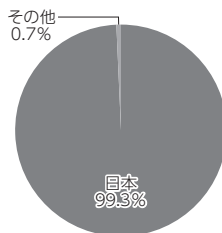
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

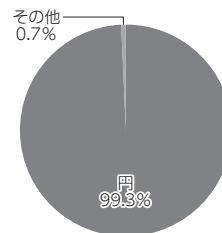
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注) その他は、日本円による現金、コール・ローン等を示します。

### 純資産等

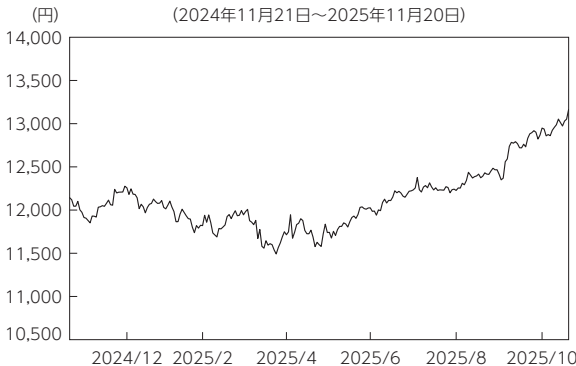
項目	第8期末	第9期末
	2025年11月20日	2026年2月20日
純資産総額	1,419,913,591円	1,431,543,795円
受益権総口数	1,229,328,657口	1,235,698,570口
1万口当たり基準価額	11,550円	11,585円

(注) 当作成期間(第8期~第9期)中における追加設定元本額は101,641,616円、同解約元本額は97,384,075円です。

組入上位ファンドの概要

しんきん先進国債券インデックスマザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年11月21日～2025年11月20日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用	3	0.021
( 保 管 費 用 )	(2)	(0.021)
( そ の 他 )	(0)	(0.000)
合 計	3	0.021

期中の平均基準価額は、12,110円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

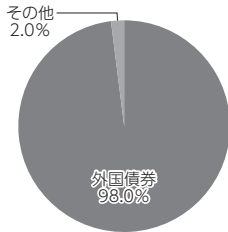
【組入上位10銘柄】

(2025年11月20日現在)

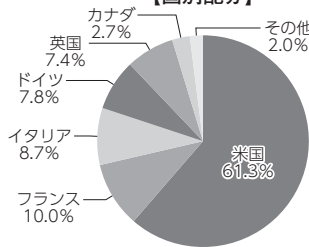
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 ( 地 域 )	比 率
					%
1	T-BOND 3.125 05/15/48	国債証券	米ドル	米国	2.2
2	T-NOTE 0.750 01/31/28	国債証券	米ドル	米国	2.1
3	T-NOTE 2.250 08/15/27	国債証券	米ドル	米国	2.0
4	T-NOTE 1.500 02/15/30	国債証券	米ドル	米国	1.9
5	T-BOND 5.250 11/15/28	国債証券	米ドル	米国	1.7
6	T-BOND 2.000 08/15/51	国債証券	米ドル	米国	1.6
7	T-NOTE 1.000 07/31/28	国債証券	米ドル	米国	1.6
8	T-NOTE 4.375 11/30/28	国債証券	米ドル	米国	1.4
9	T-BOND 4.750 02/15/37	国債証券	米ドル	米国	1.3
10	T-NOTE 3.500 02/15/33	国債証券	米ドル	米国	1.3
	組入銘柄数			156銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。  
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

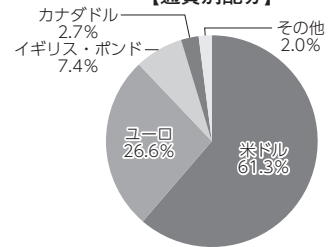
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。  
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

### ＜当ファンドのベンチマークについて＞

FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害および一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

#### ○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

#### ○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。